

牛鬼まじり

第60回





つなぐ

〜第60回うわじま牛鬼まつり〜

7月22日(水)〜24日(金)の3日間、第60回うわじま牛鬼まつりが開催され、多くの人でにぎわいました。今年のテーマは「つなぐ」受け継がれる伝統と想い、そして未来へ」。今年もさまざまなイベントが開催され、宇和島の夏を熱く盛り上げました。

22日には、宇和島の夜を鮮やかに彩る海上打ち上げ花火が上がり、23日には多くの学校のブラスバンド、県警音楽隊による演奏や、会場を熱気で包んだガイヤカーニバルが開催されました。そして最終日の24日には、巨大な牛鬼が街を練り歩く牛鬼パレードや、多くの年代に親しみのある宇和島おどりが披露されるなど、宇和島の街も人も、活気であふれる3日間となりました。

さらに今年は60周年の記念事業として、仙台のすずめ踊りや写真展の開催など、特別な催しも実施されました。



60周年記念事業

海上打上花火有料観覧場所の設置



宇和島の夜を鮮やかに彩る海上打上花火。今年は宇和島城と宇和島水産高校に観覧場所が設置されました。

60回記念を彩る階段装飾



南予文化会館の階段が60回記念を祝う特別な装飾で華やかに彩られ、フォトスポットとしてにぎわいました。

仙台すずめ踊り



宇和島市と歴史姉妹都市として提携している仙台市。祭りを一層盛り上げるため、はるばる仙台から駆け付け、躍動感のある演舞で会場を沸かせました。

「60年の記憶」写真展



市民から募集した昔の牛鬼まつりの写真が、7月中、恵美須町商店街に展示されました。昔懐かしい宇和島の風景を思い出せる印象的な写真展でした。

1967年の初開催から今年で60回目という節目を迎えたうわじま牛鬼まつり。迫力ある牛鬼が街を練り歩き、華やかな踊りやにぎやかな掛け声が響きわたる中、そこにはたくさんの人の笑顔があふれていました。

年代や地域を超えて、さまざまな人がつながり宇和島全体が一つになれるのも、牛鬼まつりの大きな魅力です。この3日間に注がれた一人ひとりの情熱と、宇和島を愛する想いは、記念すべき第60回にふさわしい力強さと確かな一体感を生み出していました。

時代が変わっても、色あせることない情熱と、そこから生まれる感動。歴史を重ねながら紡がれる私たちの伝統は、これからも宇和島の夏を彩り続けます。

60年の歴史を
これからへつなぐ